

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間30 (15)	開講時期	1年・後期
授業科目名	疾病論Ⅱ (呼吸器系)				授業形態	講義
担当教員	金子隆幸			実務経験	○	医師
授業概要	「人体の構造と機能」で学んだ呼吸器の構造や機能が障害された状態 (疾患) を理解する。診断の流れを学び、呼吸器疾患に伴う主な症状と呼吸器疾患との関連を理解する。					
学習目的	呼吸器系に関する構造と機能および他臓器との関連を理解する 疾患の診断に必要な症状と兆候、診断技術を理解する 呼吸器系疾患の症状と兆候を理解する					
到達目標	人体の構造と機能で学んだ呼吸器の正常状態について述べられる 呼吸器系に異常が生じる主な原因と身体全体への影響が述べられる 呼吸器疾患の診断の流れを述べられる 主な検査内容と基準値が述べられる 各呼吸器疾患に伴う主な症状や兆候を説明できる。					
授業内容	1、2 呼吸器の構造と機能 3、4 症状とその病態生理 5、6 検査と治療・処置 A B 7、8 検査と治療・処置 C 9、10 疾患の理解 A B C 11、12 疾患の理解 D E F 13、14 疾患の理解 G H I 15 疾患の理解 J K 終講試験					
評価方法	筆記試験、出席状況、質問への回答、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学2 呼吸器 第16版第2刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間30 (15)	開講時期	1年・前後期
授業科目名	疾病論Ⅱ (循環器系)				授業形態	講義
担当教員	萱島道德			実務経験	○	看護師
授業概要	循環器疾患でみられる症状とその病態生理について理解する。診断に用いられる主な検査方法とその特色を理解し、代表的な疾患、病態について学ぶ。					
学習目的	循環器系に関する構造と機能および他臓器との関連を理解する 疾患の診断に必要な症状と兆候、診断技術を理解する 循環器系疾患の症状と兆候を理解する					
到達目標	人体の構造と機能で学んだ循環器の正常状態について述べられる 循環器系に異常が生じる主な原因と身体全体への影響が述べられる 循環器疾患の診断の流れを述べられる 主な検査内容と基準値が述べられる 各循環器疾患に伴う主な症状や兆候を説明できる。					
授業内容	1、2 心臓・血管の構造と機能 3、4 症状とその病態生理 5、6 検査と治療 A B 7、8 検査と治療 C 9、10 疾患の理解 A B 11、12 疾患の理解 C D E 13、14 疾患の理解 F G H I 15 疾患の理解 J K L 終講試験					
評価方法	筆記試験、出席状況、質問への回答、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学3 循環器 第16版第2刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						